

第17回男子ジュニアアジア選手権  
戦況連絡票

開催日	7月19日（火）					
試合	予選ラウンド					
チーム名		スコア				チーム名
日本	31	18	前半	14	31	バーレーン
		13	後半	17		

No.	名前	得点	戦況
1	今井 寛人	0	<p>先手を取ったのは日本。今大会好調のNo.7荒瀬、初先発のNo.19伊禮、No.2大竹で先手を取るが、バーレーンもNo.77 KHAMIS、No.10 RABIAの得点で追隨。開始15分は7-7の同点。その後も撃ち合いの展開が続くが、日本は変わって入ったNo.12 GK大山の連続セーブで主導権を握る。前半終了間際には、No.13細田の連取で18-14とリードして怒濤の後半へ。</p> <p>後半スタートから、バーレーンはDFを立体的な3-2-1に変更する。これに対し、日本OF陣は早いパスワークを封じられ、徐々に得点ペースがダウン。対してバーレーンは、後半から出場の司令塔NO.14ALIの配給から、ポスト・サイドと散らされて徐々に点差を詰められる。</p> <p>後半20分には、ついに26-26の同点に追いつかれる。粘る日本はスピードスター・No.4 藤坂の意地の一撃で28-27。しかし、相手エースのNo.77 KHAMISに連打を許し、27分には遂に29-30とリードを奪われる。再び藤坂で同点にするが、直後に勝ち越しを許してラスト1分を切り日本ボール。得点しなければ後のない日本だが、バーレーンの必死のDFを崩せず、審判の手が上がる。残り15秒、このチームの絶対的なエースであるNo.5泉本がフリースローから豪快に打ち込み、31-31の同点でタイムアップ。</p> <p>次戦はアジアの覇権を争うライバル国の一つ、クウェートである。アジア制覇に向けて負けられない戦いが続くが、良い準備をして大一番に備えたい。</p>
2	大竹 徹大	3	
3	高橋 颯汰	0	
4	藤坂 尚輝	6	
5	泉本 心	5	
7	荒瀬 廉	9	
8	羽瀨 晴一郎	0	
9	大浦 和真	3	
10	中島 遼也	1	
12	大山 翔伍	0	
13	細田 啓輔	2	
15	北川 雄聖	0	
17	近藤 ダノベン 優一郎	0	
19	伊禮 颯雅	1	
20	新井 駿佑	0	
21	井上 明	1	